

地方独立行政法人大阪産業技術研究所
令和5事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

法人の毎事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、知事（設立団体の長）の評価を受けることとなり、令和6年8月7日開催の評価委員会の意見を踏まえ、大阪市長と協議の上、令和5事業年度の業務実績の評価を以下のとおり決定した。

■ 令和5事業年度の業務実績に関する評価結果

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

【主な評価等】

評価項目		評価	主な評価内容
住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	多様な技術分野における技術支援	A 計画どおり	○利用者の利用満足度 目標：90%以上⇒実績：97.6% ○企業支援研究実施件数 目標：123件⇒実績：115件
	研究開発の推進・産業人材の育成	A 計画どおり	○金属3D造形技術の研究・試験評価を行う「3D造形技術イノベーションセンター」や次世代高速通信Beyond5Gに向けた材料開発を支援する「先進電子材料評価センター」における企業支援研究等、保有する知見や技術ノウハウ等の強みを活かした技術支援を実施した。
	事業化までの一気通貫の企業支援	A 計画どおり	○競争的研究実施件数 目標：100件⇒実績：106件 ○人材育成延べ人数 目標：520人⇒実績：758人 ○時代のニーズに対応するプロジェクト研究をはじめとした研究開発の推進や企業ニーズを踏まえた技術者研修の実施など人材育成の支援に積極的に取り組んだ。
業務運営の改善及び効率化		A 計画どおり	○製品化・成果事例件数 目標：33件⇒実績：38件 ○技術情報の発信件数 目標：987件⇒実績：860件 ○研究論文の発表件数 目標：100件⇒実績：86件 ○知的財産出願・秘匿化件数 目標：35件⇒実績：27件
財務内容の改善、その他業務運営に関する重要事項		A 計画どおり	○大阪・関西万博に向け、大阪ヘルスケアパビリオンにおける「リボンチャレンジ」の参画主体として、中小企業・スタートアップとの新技術の共同開発等を開始するとともに、産業支援機関や金融機関等との連携をより一層深めるため、新たに連携交流会を開催するなど、産学官連携の推進に向けた様々な取組を実施した。

＜評価区分＞

S:特筆すべき進捗状況 A:計画どおり B:おおむね計画どおり C:やや遅れている D:重大な改善事項あり